

平成 30 年 6 月吉日

S S T A九州ブロック

支 部 長 各位

事務局長 各位

会 員 各位

S S T A福岡北支部

支部長 古澤 律子

平成 30 年度 S S T A九州ブロック特別研修会福岡北大会

入梅の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、S S T A福岡北支部では、ブロック特別研修会福岡北大会を下記の通り計画いたしました。多くの先生方のご参加をお待ちしています。

なお、各支部におかれましては、参加者をとりまとめていただき、7月13日（金）までに福岡北支部事務局へご報告くださいますようお願いいたします。

記

1 主 催 ソニー科学教育研究会（S S T A）福岡北支部

2 後 援 ソニー教育財団

3 期 日 平成30年8月10日（金）～12日（日）

4 会 場 小倉リーセントホテル（〒803-0811 北九州市小倉北区大門1丁目1番17号）

5 日 程

【1日目：8月10日（金）】

12:00	13:00	14:00	14:30	18:00	19:00	21:00
受付	開会行事	オリエン テーション	班別研修① 事務局長会議①	休憩	懇 親 会	

【2日目：8月11日（土）】

7:00	9:00	12:00	13:00	16:00	18:00	18:30	19:30	21:00
朝食	班別研修②	昼 食	全体会② 中間発表	班別研修③ 事務局長会議②	休憩	夕食	班別研修④	

【3日目：8月12日（日）】

7:00	9:00	11:00	11:30	12:00
朝食	全体会③ 最終発表	指導 助言	閉会 行事	

6 大会主題 『子どもが見方を働かせて問題を追究する連続した単元の在り方』

7 趣 旨 本大会では、単元固有の価値を見直し、領域を意識するのではなく、一つの「見方」を通した7年間の単元同士の新たなつながりを提案する。

8 講 師 日本体育大学児童スポーツ教育学部 教授 角屋 重樹 先生

- 9 参加者 研修員・指導者 約40名
 各支部・事務局長 約10名
 福岡北支部役員及び運営委員 約15名

10 研究部会と研究単元

研究部会	研究単元
3年部会	「光と音の性質」(エネルギー)
4年部会	「雨水の行方と地面の様子」(地球)
5年部会	「物の溶け方」(粒子)
6年部会	「人の体のつくりと働き」(生命)
中学校部会	「電流」(エネルギー)

11 本研究の進め方

昨年度の熊本大会のテーマ『子どもが、見方・考え方を働かせて追究する「問いと学習活動」の在り方』と、「単元固有の価値と小中の連携」という課題を踏まえた上で、新学習指導要領で示された「理科の見方」に焦点を当て、各部会に分かれて、学習の指導法についてそれぞれ考える。

具体的な授業の提案のために、以下のプロセスで実践的なプランを立てる。

- ① その単元で働かせる見方で、前後の単元と本単元とをつなげる。
- ② 単元固有の価値を明らかにする。
- ③ その価値を獲得するための学習指導法を提案する。

最終発表では、どのような見方を働かせて子どもたちは、問いをもち、追究していくのか。見方のつながりを意識し、単元固有の価値に迫る深い学びを提案する。

12 参加費等

参加費 9,000円 宿泊費 14,000円程度

※教職員互助会及び共済組合の補助券を持参いただくと、割引が適応されます。

13 事務局会議

各支部の事務局長が集まって、時期開催支部と方向性を決めます。

14 参加者の取りまとめについて

各支部で参加者をとりまとめていただき、別紙(参加申込書)にて、福岡北支部事務局へ7月13日(金)までにお知らせください。

※問い合わせ先

SSTA福岡北事務局
 北九州市立八枝小学校 津島 大輔
 〒807-0856 北九州市八幡西区八枝四丁目5番1号
 TEL 093-603-0372 FAX093-603-0373

部 会 名	支 部 名	氏 名
() 部会	() 支部	

単 元 名	
学習指導要領に示された内容	

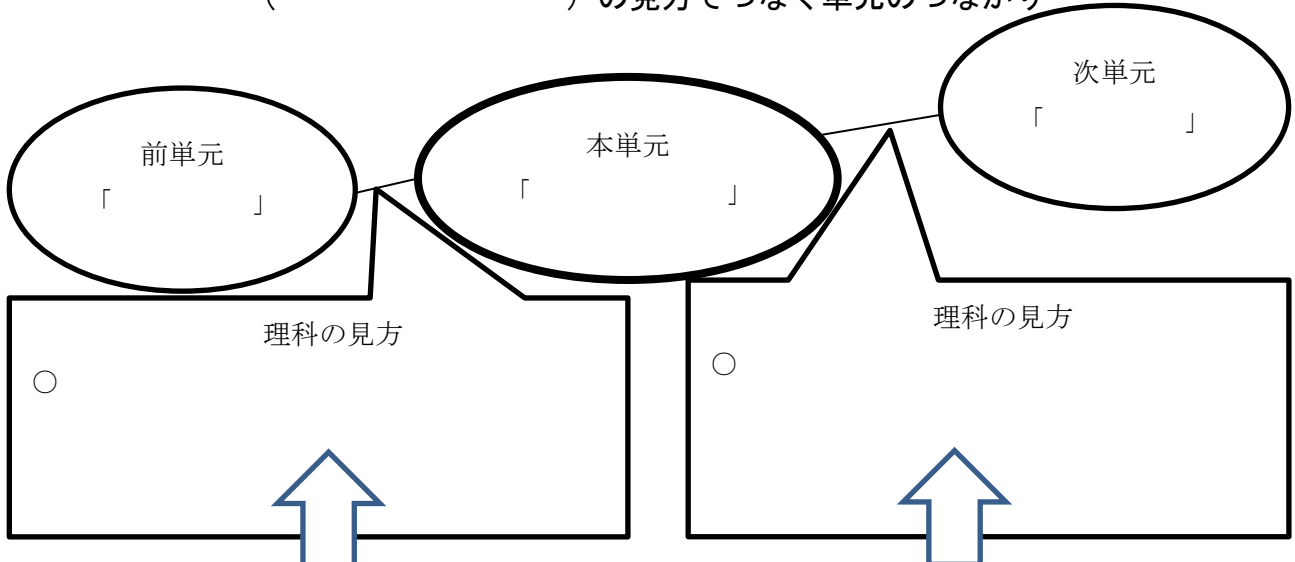
①新学習指導要領で示されている本単元の内容を書いてください。

- 質的・実体的…
- 量的・关系的…
- 共通性と多様性…
- 時間的・空間的…
-
-

②子どもはどのような見方を働かせているのか。本単元について考えつくものを書き出してください。学習指導要領に示されている見方をとりあえず出していますが、他にもあるときには追記してください。

③軸となる見方を一つ選び本単元と前後の単元について書いてください。学習指導要領に示されている内容・領域に縛られずに考えてみてください。

() の見方でつなぐ単元のつながり



④本単元の前後において、子どもの見方はどのように変化するのか、子どもの発達段階を踏まえて書いてください。

☆本研修会においては、単元そのものの内容と子どもの発達段階に応じた見方を働かせるための内容とその配列を吟味していくことで「単元固有の価値」を明らかにしていきます。さらに、その価値を獲得するための学習指導法について、各部会で協議し提案していきます。

例	部 会 名	支 部 名	氏 名
	6年生) 部会	(福 岡 北) 支部	北九 太郎

単 元 名	燃焼の仕組み
学習指導要領に示された内容	<p>燃焼の仕組みについて、空気の変化に着目して、物の燃え方を多面的に調べる活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ア) 植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができること。</p> <p>イ 燃焼の仕組みについて追究する中で、物が燃えたときの空気の変化について、より妥当な考えをつくりだし、表現すること。</p>
本単元で子どもが働かせている見方	
<ul style="list-style-type: none"> ○質的・実体的… 空気を複数の混合気体としてとらえる。 燃焼前後の空気の質の違いに目を向ける。 ○量的・関係的… 酸素と二酸化炭素の量という視点でとらえる。 ○共通性と多様性… ○時間的・空間的… びんの大きさの違いによる燃焼時間の違い。 ○定性・定量… 石灰水で調べてから気体検知管を使って調べる。 ○ 	

